クラスだより

こひつじ１組

10月号

先日は運動会にご参加頂きまして、ありがとうございました。お天気にも恵まれて、無事全員で迎えることができたこと、心から嬉しく思います。

パラバルーンを終えて、リレーまでの待ち時間、他学年の競技を見ながら、今のこひつじさんが、年少の頃を思い出していました。初めての運動会でドキドキして立ち止まっていたり、砂を触っていたり、涙していた子たちが、今では一人一人が一生懸命それぞれの力を発揮していて、みんな本当に大きくなったなと思い、本当にこひつじ1組の子どもたちの担任になれて良かった、と感動と感謝とで涙が込み上げていました。

リレーでは、3位と2位になったことで、悔しくて涙する子もいました。それまで精一杯頑張って来たことを知っているからこそ、これまで積み重ねた努力や思いが涙になったのだな、と思うと、子どもたちの気持ちが痛いほど伝わってきました。今月の聖句「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」という言葉にもある通り、共感による寄り添いが、子どもたちにも伝わっていたら嬉しいです。

神様は、運動会の日の子どもたちを見て、きっと喜びと涙を共にしてくださったと私は信じています。本当に、一人一人の成長を心から嬉しく思いました。

次はクリスマス会。年長組はイエス様の降誕劇であるページェントを行います。早速昨年度のビデオを観て、ページェントごっこを通した上で、役決めも行いました。様々な思いがあり、受け止め、話し合いながら決まりました。全ての役に意味があり、価値があります。自分の役割の素晴らしさを実感できるように、イエス様のお誕生をみんなで喜び合い、全員で一つのページェントを作り上げられるように、私も子どもたちと共にクリスマスに向けて歩んでいこうと思います。

「もう一回運動会したい！！」

運動会の代休明けに、お部屋に入って来て一番にそう発言する子がいました。すると、次々に「僕ももう一回やりたい！」「私も！」と声が上がり、よくよく話を聞くと、やはり「リレーで負けたのが悔しかったから、もう一回リレーをしたい」とのことでした。そこで、クラスの子に、聞いてみたところ、半数以上がもう一度やりたいと言いましたが、反対に「負けるからもうやりたくない」と話す子もいました。「じゃあ、職員室の先生たちとリレーするのはどう？」と子どもたちに聞くと、「やりたい！」と全員が賛成！　職員室の先生たちにお願いをしに行って、こひつじ1組VS先生たち　のリレーを行うことになりました。結果はAチーム、Bチーム共に大勝利☆　みんな大喜びで「もう一回やりたい！」と言う子が大勢いました。

そこで、今度は他クラスとしたいとの声が上がり、「どのクラスとリレーしたいの？」と聞くと「こひつじ２組、３組は負けるからいや」「こばと１組さんとしたい」と発言がありました。こばとさんとするのはとても良い案だと思ったのですが、「こばとさんと、こひつじさんで走ったら、どっちが勝つと思う？」と尋ねると、はっとした様子で「こひつじさん」と答えた子どもたち。「どうして？」と聞くと、「こひつじの方が速いから」と話していました。「じゃあ、どうしたら、こばとさんもこひつじさんもみんなで楽しく走れると思う？」とクラスで考え合いました。その結果、こばとさんにもA、Bチームに分かれてもらい、こひつじのA、Bチームと合体させて、こばとこひつじAチームVSこばとこひつじBチームでリレーを行うことになりました。どきどきしているこばとさんに対して、「前に出ていいよ！」と手を引いてくれる子もおり、とても良い交流の時間になりました♪

その後も外遊びで、みんな自発的にリレーを楽しむ姿が見られています☆











こりすさんと一緒にパラバルーンと、とてとを踊りたい！

運動会後、こひつじ２組さんが、こりすさんと一緒にパラバルーン・とてと（フォークダンス）をしている様子を見た子どもたち。「私たちも、こりすさんと一緒にパラバルーンしたい！」「あと、とてともやりたい！」と声が上がった為、こりすさんにお手紙を書いて誘いに行き、ホールで交流の時間を持ちました。

これまで一生懸命取り組んできた子どもたちだからこそ、張り切りすぎて、勢いよくパラバルーンを動かしてしまうのではないかな…と少し不安な思いがありましたが、こりすさんたちが隣に来た途端、顔を覗き込んで様子を伺ったり、優しく声を掛けたり、技もゆっくり優しくこりすさんを待つ姿があって、本当に素敵なお兄ちゃんお姉ちゃんたちの姿が見られました。

とてとでは、普段あまり体操が好きではない子も「○○くん、こっち！」と手を引いて、楽しそうに一緒に踊ったり、こりすさんに目線を合わせるように少し屈んでタッチをする子も♪

最後はこりすさんのお部屋まで手をつないで送っていきました。子どもたちの一つ一つの温かい言動は、きっとこれまで保護者の方々や、友達、かつてのお兄ちゃんたちなど、これまで関わってきたたくさんの方々から受け取ってきた愛であり、それがこうして「自分も小さい子と関わりたい。優しくしたい」、という気持ちに繋がったのではないかと思います。

共に育ちあう、ひかりの子の理念に沿った育ちが見られた瞬間でした。






「なんかお化け屋敷みたい！」

二学期が明けてしばらくすると、おままごとコーナーの家具やベンチを動かして、狭い空間で何やら楽しむ姿が見られ始めました。すると、大きなベンチ椅子まで立てて空間を作っており、さすがに危ないかもと思い「どうしたいの？」声をかけると、「だって狭くしたいねんもん！」「暗くしたいねん！」と言われました。危険がないように傍についていると、そんな遊びを楽しんでいる中で、「なんかお化け屋敷みたい！」と発言する子が。そこから本格的にお化け屋敷作りがスタートしました。

初めは家具を動かしていましたが、もっと狭く、暗くしたいという思いがあり、黒い布を用意しました。みんなが入れるように天井を高くした方が良いかな？と考えていましたが、子どもたちは「低くしたい！」と言い、天井として黒い布を被せていました。しかし、隙間の光も遮りたい思いが強かった子どもたち。どうにかしようと布を引っ張っていましたが、細かい隙間にまで持っていくことが難しく、「ここまだ明るい！！」と苦戦する様子が続いていました。同時に、おままごとで遊びたい子もいたため、一度おままごとの家具を移動させ、広い空間にし、段ボールを使ってお化け屋敷を作ることに！

みんなで力を合わせ、なんとかお化け屋敷が出来てきました！

チケットやお金を作り、ごっこ遊びを楽しむ様子も♪

天井部分が崩れがちなため、毎日修理を繰り返していますが、その作業自体もとても夢中になっている子どもたちです♡

ブラックライトを当てるとお化けがでてきた！？

お化け屋敷が盛り上がってきたため、お誕生日会の出し物で、ブラックライト付きのペンを紹介しました。描いた時には何も見えないはずなのに、不思議なライトを当てると、描いたものが見えるという現象に、子どもたちは大興奮！

すぐにお化け屋敷の段ボールに書き込みに行く姿がありました。お化け以外も、自分の好きな絵を描く子や、紙にお手紙を書く子など、様々な形で楽しんでいました。普段は見えないからこそ、「先生……私、お化け屋敷にうんこ描いた」とこっそり教えてくれる子もいました☆

ただ、ペン先のブラックライトだと、せっかく描いても、お化け屋敷内ではなかなか見えない様子……。そのため、ブラックライト単体も用意したところ、ますます夢中になってお化け屋敷に入る姿が見られています♪








今月の讃美歌・歌

♪君は愛されるため生まれた

♪うたえばんばん

クラスの取り組み

クリスマスに向けての取り組みが少しずつ始まっています。子ども達が自分で選んだ役割に一生懸命励み、イエス様のお誕生日をお祝いする準備をしています。

おばけがいっぱい！！

お部屋を暗くするために、窓に黒い画用紙を貼っていたのですが、せっかくなら、みんなでお部屋をお化けだらけにしてみようと、絵の具でお化けを描きました！

中には、乾いてから、丸シールでたくさん目を付ける子も！自分なりに工夫して、シールを半分に切って、怒っている表情のお化けを作る子もいました！

また、自由活動中に私がお化けのお面を作って、子どもたちを脅かしていると、「私も作りたい！」と言う子が出てきました。そこで、全員でお化けのお面を作ることに♪

お化けだけでなく、何かになり切る仮装のような形になるのも楽しいかと思い、特にお化けに限定せず、子どもたちの描きたいものに任せたところ、可愛い魔女や猫を描く子も♪

それぞれが思い思いのお面を作ることができたようで、喜んでいました！


